

## 年末年始 休業・営業のご案内

○潮風呂保養館  
☎0820(79)0021  
・年末年始は平常通り営業。  
※1月1日(火)も営業します。

○竜崎温泉潮風の湯  
☎0820(77)1234  
・休業日  
12月31日(月)、1月7日(月)  
・マイクロバスの運休  
1月1日(火)～1月4日(金)

○竜崎温泉温水プール  
☎0820(77)1234  
・休業日  
12月29日(土)～1月3日(木)  
・マイクロバスの運休  
1月1日(火)～1月4日(金)

○片添ヶ浜温泉遊湯ランド  
☎0820(78)2226  
・休業日  
12月30日(日)～31日(月)、  
1月2日(水)  
・マイクロバスの運休  
1月3日(木)  
元旦は初湯につかり、初日の  
出を眺めていただくため、午前  
7時から午後2時まで営業しま  
す。また、先着順にぜんざいを  
無料サービスします。

○星野哲郎記念館  
☎0820(78)0365  
・年末年始(12月29日(土)～1  
月3日(木))も開館します。  
・休業日(振替休日)  
1月4日(金)

☎75-1575  
フェリー株式会社

■問い合わせ／周防大島松山  
港しません。  
また、「しらきさん」ドック  
のため、平成20年2月28日(木)  
伊保田港発の0時9分三津浜  
行きから3月6日(木)0時9分  
三津浜行きの便まで運休とな  
りますので、伊保田港には寄  
りません。

○中国四国農政局山口農政事務所 ☎083(922)7926  
地元の食材を積極的に消費する地産池消を拡大していくこと  
が、山口県の「食」と「農業」を守ることに繋がります。  
皆様方にも、米や野菜・魚・肉など地元の食材の積極的な活  
用をお願いします。  
このため、山口農政事務所では「めざましごはんキャンペーン」  
として、米の消費拡大を核とした地産池消による朝ごはんを推  
進してまいります。

農業委員会委員選挙人名簿の記載申請について  
農業委員会委員の選挙人名簿は、選挙管理委員会が有権者(農業従事者)からの申請に基づいて毎年1月1日現在により、その選挙資格を調査し、調製することとされています。  
このように毎年一定時期を基準として選挙権を有する者を登録し、名簿確定後は一定期間据え置いて、その期間に行われる農業委員会の委員に關するすべての選挙に用いられる選挙人名簿のことを「定時調製名簿」といいます。  
今回作られる名簿ののつてないと、今後1年間は農業委員会の委員に關する選挙への投票やリコールの請求もできませんので、該当される方(周防大島町に住所を有する年齢

満20歳以上で10アール以上の農地を耕作している者等)は、この広報と同時に配布されている農業委員会委員選挙人名簿記載申請書を平成20年1月10日までに農業委員会(久賀庁舎内)へ提出してください。(お近くの行政連絡員さんや各総合支所・出張所を通じて提出されてもけっこうです。行政連絡員さんを通じて提出される場合は早めに提出してください。)

なお、国会議員の選挙や県町の議会の議員や長の選挙の際に使われる選挙人名簿は、農業委員会委員の選挙人名簿とは違って、住民基本台帳に基づいて、選挙管理委員会が調製、保管する名簿です。いったん登録されると、他の市町村に転出して4箇月を経過したとき、死亡したとき以外に

柳井港発	伊保田港発	三津浜港着
00:30	01:49	03:00
07:35	08:54	10:05
12:55	14:14	15:25
18:25	19:44	20:55
三津浜港発	伊保田港発	柳井港着
03:40	04:56	06:10
10:15	11:31	12:45
15:45	17:01	18:15
21:30	22:46	00:00

伊保田港フェリー発着時刻の変更について  
平成20年2月11日(月)から2月27日(木)まで、伊保田港発着のフェリーの時刻が次のとおり変更になります。

☎79-1002  
選挙管理委員会  
☎74-1000

## 活力ある一日は 朝ごはんから

11月から「めざましごはんキャンペーン」が始まりました

「食」は「いのち」を支える源であり、一日たりとも欠かすことのできない生活の基本です。朝ごはんを食べないと、体温が低いままで、あくびが出たり眠くなったりして集中力が出ません。活力ある一日を過ごすためには、日本の気候風土に適した米を中心に農作物、畜産物、水産物等多様な副食から構成され、栄養バランスに優れた「日本型食生活」を意識した朝ごはんをお勧めします。

今、日本の食料自給率は39パーセントと先進国では最も低い数値となっており、日本の食料の約6割が外国からの食料輸入でまかなわれています。食料自給率低下の要因のひとつに、お米の消費が減っていることがあげられます。

このため、山口農政事務所では「めざましごはんキャンペーン」

として、米の消費拡大を核とした地産池消による朝ごはんを推進してまいります。

地元の食材を積極的に消費する地産池消を拡大していくことが、山口県の「食」と「農業」を守ることに繋がります。

皆様方にも、米や野菜・魚・肉など地元の食材の積極的な活用をお願いします。

このため、山口農政事務所では「めざましごはんキャンペーン」

として、米の消費拡大を核とした地産池消による朝ごはんを推進してまいります。

地元の食材を積極的に消費する地産池消を拡大していくことが、山口県の「食」と「農業」を守ることに繋がります。

皆様方にも、米や野菜・魚・肉など地元の食材の積極的な活用をお願いします。

このため、山口農政事務所では「めざましごはんキャンペーン」

として、米の消費拡大を核とした地産池消による朝ごはんを推進してまいります。